

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名		ライフサイエンス研究開発推進経費		担当部局庁	研究振興局		作成責任者			
事業開始年度	平成23年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	ライフサイエンス課		ライフサイエンス課長 奥 篤史			
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定)					
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ライフサイエンス分野において、効率的・効果的に研究開発を推進するため国内外の研究の状況や社会ニーズ等を把握するための実態調査を行うとともに、先端医学研究、研究基盤整備を始めとしたライフサイエンス分野の推進方策について検討を行う。また、最先端のライフサイエンス研究に関する諸課題に関し、法令・指針に基づく対応、研究の進展状況を踏まえた対応、事業者への情報提供等による法令・指針の遵守の徹底等を図る。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	ライフサイエンス分野の研究開発の推進全体に必要な業務及び、生命倫理・安全対策に関わる諸問題に対する調査、法令・指針の整備、法令・指針に基づく審査、情報提供等を実施する。									
実施方法	直接実施									
予算額・執行額(単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算の状況	当初予算	54	53	48	45	41			
		補正予算	-	▲0.8	0	0				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	0	-					
		予備費等	-	▲0.4	▲0.3					
		計	54	51.8	47.7	45	41			
	執行額		41	31	31					
	執行率(%)		76%	60%	65%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		76%	59%	65%						
令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	非常勤職員手当	28	29	※金額は小数点第一位を四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。						
	職員旅費	7	4							
	庁費	6	4							
	諸謝金	2	2							
	委員等旅費	2	1							
	その他	-	1							
計	45	41								
活動内容(アクティビティ)	生命倫理・安全対策に関わる諸問題に対する法令・指針について、研究者等への情報提供等を実施する。									
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	生命倫理・安全対策に関わる諸問題に対する法令・指針について、研究者等への情報提供機会の充実	ライフサイエンス分野の研究開発推進に伴う生命倫理・安全対策に関わる説明会等への参加人数※※令和3年度までは説明会等の回数	活動実績	件	11	4	13	1,500	1,500	
			当初見込み	件	19	18	18	1,500	1,500	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	本事業はライフサイエンス分野において効率的・効果的に研究開発を推進すること等を目的としており、活動実績の見込みを定量的に示せるものではない。			単位当たりコスト	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標4年度	目標最終年度	
	生命倫理・安全対策に関わる法令・指針への不適合事案0件	生命倫理・安全対策に関わる法令・指針への不適合事案の発生件数	成果実績	件	1	2	5	-	-	
			目標値	件	0	0	0	0	0	
			達成度	%	-	-	-	-	-	

根拠として用いた統計・データ名 (出典)		文部科学省調査	
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応
	政策評価	施策	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応
			政策評価書 URL https://www.mext.go.jp/content/20211008-mxt_kaiquesou02-000018185_0029.pdf
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	取組事項	分野:
(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:			
		該当箇所	
		該当箇所	施策目標9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	ライフサイエンス研究は、国民や社会のニーズが非常に大きい健康長寿の実現や食料・環境問題の解決等に大きく貢献する一方で、生命の尊厳や人権、生物多様性等に影響を与えかねない。このような悪影響を防ぎ、適正にライフサイエンス研究を進展させて国民・社会の期待に応えるため、必要な規制の周知、運用等を図る必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	ライフサイエンス研究は、地域や官民を越えて実施されるものであるため、国において法令・指針を定めている。定めた法令・指針の周知、運用等は、国が自ら行うべきものである。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	規制の運用や説明会の開催、現地調査等により現状を把握することは、国民の信頼に応えつつ適正にライフサイエンス研究を推進する上で必要かつ適切な事業であり、優先度が高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	調達に当たっては、予算決算及び会計令第99条及び同条の2に基づくもの以外は競争入札によって決定しており、競争性は確保されている。また、一般競争入札を行う際は、十分な公告期間を設けるなど新規参入の妨げとならないための取り組みを行っている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	研究開発の推進や法令・指針の徹底等を図る上で真に必要な、説明会の開催や規制の運用、現地調査等に係る経費(旅費、人件費等)のみを計上している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	法令・指針に対する不適合事案が発生した場合に備え、現地調査や臨時的説明会開催等に係る予算を確保していたが、当該事案の発生を防ぐことができたため。また、下記のとおり会場借料等を削減したため。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	WEBでの参加により、会場借料等の削減を図っている。	

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	当年度においては生命倫理に関わる法令・指針への不適合事案の発生件数は5件であった。指針の周知が徹底され、研究機関自ら、不適合事案の報告を自ら行ったものであり、適切な指導を行い、改善を促すことができた。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	当初実績見込みよりも少ない13件であるが、コロナ禍において、リモートでの開催を増やすなど工夫している。なお、前年度に比較して実績が大幅に増えたのは、生命倫理に関する指針を改正したことを周知する必要があったためである。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	文部科学省のHPに法令・指針に関する資料等を適時掲載することにより、関係機関に対する周知や情報提供を行っている。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			○	遺伝子組換え生物等の第一種使用規程の承認に当たっては、法に基づき学識経験者へ意見聴取を行うこととしているが、その意見聴取に当たり検討会を開催する場合には、環境省と共催し、開催費用も交互に負担するなど、適切に役割分担をしている。	
	事業番号		事業名			
	2022	環境省	21	0220		遺伝子組換え生物対策費
点検・改善結果	点検結果	当年度において、生命倫理に関わる法令・指針への不適合事案の発生件数は5件であったが、適切な指導を行い、今後の改善を促すことができた。				
	改善の方向性	引き続き、各種指針や法令に関する講習会について、内容、実施回数等を精査して実施することで、法令・指針の遵守徹底に向けた取組みをより一層効率的・効果的に進める。				
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
の事業部内改善	この事業は、平成23年度から実施している長期継続事業であり、経年の執行状況を踏まえながら予算への反映を行うなど、一定の見直しを実施していると認められる。不用については法令・指針に対する不適合事案が5件発生しているが、WEBでの実施等に伴う予算執行の効率化が図れた結果であるため、合理的な理由があると判断できるが、引き続き、執行率の状況を踏まえ、コストを意識しながら着実に事業の遂行・執行管理を行いつつ、成果指標及び活動指標に関しても、再検討をしていく必要がある。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
改善度を内検に	所見を踏まえ、引き続き、執行率の状況を踏まえ、コストを意識しながら着実に事業の遂行・執行管理を行いつつ、成果指標及び活動指標に関しても、再検討していく。					
備考						

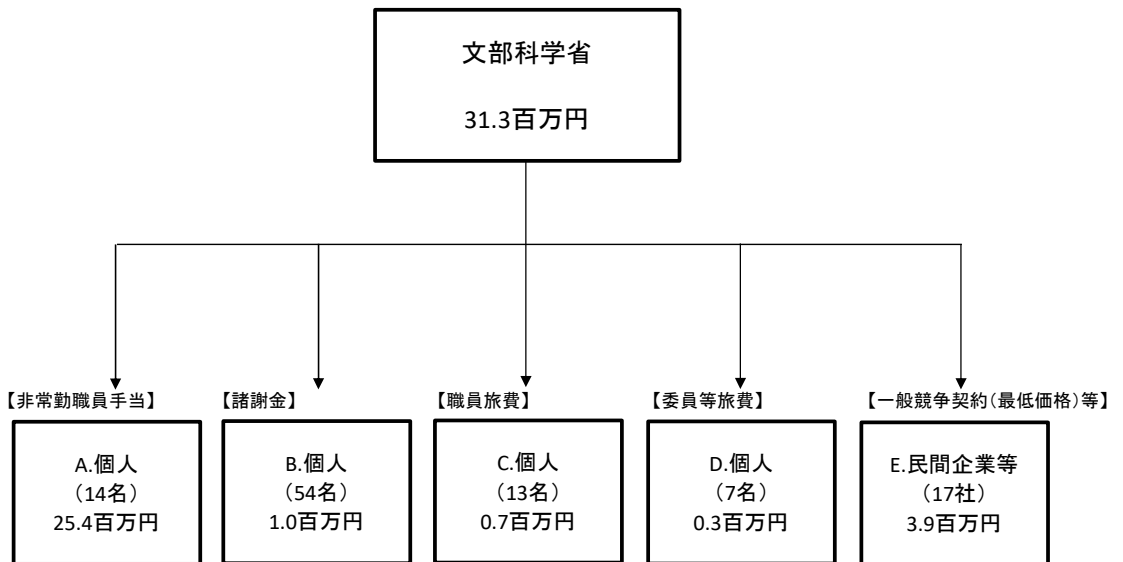
関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	新23-0052			
平成24年度	261			
平成25年度	234			
平成26年度	232			
平成27年度	222			
平成28年度	242			
平成29年度	251			
平成30年度	248			
令和元年度	文部科学省 - 0242			
令和2年度	文部科学省 0243			
令和3年度	2021 文科 20 0262			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

※金額は小数点第二位を四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



ライフサイエンス分野において、効率的・効果的に研究開発を推進するため国内外の研究の状況や社会ニーズ等を把握するための実態調査を行うとともに、先端医学研究、研究基盤整備を始めたライフサイエンス分野の推進方策について検討を行う。また、最先端のライフサイエンス研究に関する諸課題に関し、法令・指針に基づく対応、研究の進展状況を踏まえた対応、事業者への情報提供等による法令・指針の遵守の徹底等を図る。

費目・使途 <small>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)</small>	A.個人A			B.個人A		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	非常勤職員手当	非常勤職員の手当	4.4		100万円未満の支出のため省略	
	計		4.4	計		0
	C.個人A			D.個人A		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
		100万円未満の支出のため省略			100万円未満の支出のため省略	
	計		0	計		0
	E.株式会社ボックス			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	庁費	ライフサイエンスの広場Webサイトの維持管理・運営業務	2.4			
計		2.4	計		0	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

支出先上位10者リスト

A.個人

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	非常勤職員手当	4	その他	-	-	
2	個人B	-	非常勤職員手当	4	その他	-	-	
3	個人C	-	非常勤職員手当	4	その他	-	-	
4	個人D	-	非常勤職員手当	3	その他	-	-	
5	個人E	-	非常勤職員手当	3	その他	-	-	
6	個人F	-	非常勤職員手当	2	その他	-	-	
7	個人G	-	非常勤職員手当	1	その他	-	-	
8	個人H	-	非常勤職員手当	0.8	その他	-	-	
9	個人I	-	非常勤職員手当	0.6	その他	-	-	
10	個人J	-	非常勤職員手当	0.6	その他	-	-	

B.
個

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	諸謝金	0.1	その他	-	-	
2	個人B	-	諸謝金	0	その他	-	-	
3	個人C	-	諸謝金	0	その他	-	-	
4	個人D	-	諸謝金	0	その他	-	-	
5	個人E	-	諸謝金	0	その他	-	-	
6	個人F	-	諸謝金	0	その他	-	-	
7	個人G	-	諸謝金	0	その他	-	-	
8	個人H	-	諸謝金	0	その他	-	-	
9	個人I	-	諸謝金	0	その他	-	-	
10	個人J	-	諸謝金	0	その他	-	-	

C.
個

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	職員旅費	0.2	その他	-	-	
2	個人B	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	
3	個人C	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	
4	個人D	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	
5	個人E	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	
6	個人F	-	職員旅費	0	その他	-	-	
7	個人G	-	職員旅費	0	その他	-	-	
8	個人H	-	職員旅費	0	その他	-	-	
9	個人I	-	職員旅費	0	その他	-	-	
10	個人J	-	職員旅費	0	その他	-	-	

D.
個

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	委員等旅費	0.1	その他	-	-	
2	個人B	-	委員等旅費	0.1	その他	-	-	
3	個人C	-	委員等旅費	0	その他	-	-	
4	個人D	-	委員等旅費	0	その他	-	-	
5	個人E	-	委員等旅費	0	その他	-	-	
6	個人F	-	委員等旅費	0	その他	-	-	
7	個人G	-	委員等旅費	0	その他	-	-	

